

演習問題 \*3.6 補題 3.7 の証明を参考にして  $\text{rank}_3(A') = \text{rank}_3(A)$  を示せ。

$$A = \begin{pmatrix} \mathbf{a}_1^* \\ \vdots \\ \mathbf{a}_m^* \end{pmatrix}, A' = \begin{pmatrix} \mathbf{a}'_1^* \\ \vdots \\ \mathbf{a}'_m^* \end{pmatrix} \text{ とおく。} \mathbf{a}_1^*, \dots, \mathbf{a}_r^* \text{ が 1 次独立としても一般性を失わない。}$$

$$\text{最初に列基本変形の場合を示す。} A_r = \begin{pmatrix} \mathbf{a}_1^* \\ \mathbf{a}_2^* \\ \vdots \\ \mathbf{a}_r^* \end{pmatrix}, A'_r = \begin{pmatrix} \mathbf{a}'_1^* \\ \mathbf{a}'_2^* \\ \vdots \\ \mathbf{a}'_r^* \end{pmatrix} \text{ とおくと } A_r \text{ に列基本変形を行$$

った結果が  $A'_r$  となる。 $\mathbf{x}^* = (x_1 \dots x_r), \mathbf{0}^* = (0 \dots 0)$  とおき  $W^*(A) = \{\mathbf{x}^* \mid x_1 \mathbf{a}_1^* + \dots + x_r \mathbf{a}_r^* = \mathbf{0}^*\}$  とする。 $\mathbf{a}_1^*, \dots, \mathbf{a}_r^*$  が 1 次独立であることと  $W^*(A) = \{\mathbf{0}^*\}$  であることは同値であることを注意しておく。今  $\mathbf{a}_1^*, \dots, \mathbf{a}_r^*$  は 1 次独立なので  $W^*(A) = \{\mathbf{0}^*\}$  が成立している。列基本変形を行っても  $W^*(A)$  は変化しないので、 $W^*(A'_r) = \{\mathbf{0}^*\}$  が成立している。よって  $\mathbf{a}'_1^*, \dots, \mathbf{a}'_r^*$  は 1 次独立である。以上により  $\text{rank}_3(A) \leq \text{rank}_3(A')$  が成立する。列基本変形の逆操作は列基本変形であることに注意して、 $A$  と  $A'$  の役割を入れ換えられると  $\text{rank}_3(A') \leq \text{rank}_3(A)$  が成立することが分かる。よって  $\text{rank}_3(A') = \text{rank}_3(A)$  が成立する。

次に行基本変形について示す。最初に行基本変形の 3 番目の変形の場合に示す。3 番目の変形は行の入れ換えなのでベクトルの組  $\mathbf{a}_1^*, \dots, \mathbf{a}_n^*$  と  $\mathbf{a}'_1^*, \dots, \mathbf{a}'_n^*$  は順序が一部異なるだけで集合としては等しい。よって 1 次独立なベクトルの最大個数は等しい。

2 番目の変形するとき、 $i$  行が  $\lambda (\neq 0)$  倍されたとする。このとき  $W^*(A_r) = \{\mathbf{0}^*\}$  なので  $W^*(A'_r) = \{\mathbf{0}^*\}$  となり、1 次独立性は変わらない。

1 番目の変形するとき、変形を  $j$  行の  $\alpha$  倍が  $i$  行に加えるものとする。即ち  $\mathbf{a}'_i^* = \mathbf{a}_i^* + \alpha \mathbf{a}_j^*$  であり、 $k \neq i$  のとき  $\mathbf{a}'_k^* = \mathbf{a}_k^*$  となっている。 $i > r$  のとき最初の  $r$  個のベクトルは変化しないので  $\mathbf{a}'_1^*, \dots, \mathbf{a}'_n^*$  も 1 次独立である。よって  $i \leq r$  とする。 $j \leq r$  のときは  $W^*(A_r)$  と  $W^*(A'_r)$  は一対一に対応するので、 $W^*(A_r) = \{\mathbf{0}^*\}$  より  $W^*(A'_r) = \{\mathbf{0}^*\}$  となり、 $\mathbf{a}'_1^*, \dots, \mathbf{a}'_n^*$  は 1 次独立になる。よって  $j > r$  とする。ベクトルの組

$$\mathbf{a}_1^*, \dots, \mathbf{a}_{i-1}^*, \mathbf{a}_{i+1}^*, \dots, \mathbf{a}_r^*, \mathbf{a}_j^*$$

が 1 次独立な場合とそうでない場合に分ける。1 次独立な場合は  $\text{rank}_3(A') \geq r$  となるので  $\text{rank}_3(A) \leq \text{rank}_3(A')$  となる。1 次独立でない場合は  $\mathbf{a}'_1^*, \dots, \mathbf{a}'_i^*, \dots, \mathbf{a}'_r^*$  が 1 次独立であることを示す。 $\mathbf{a}_j^*$  は  $\mathbf{a}_1^*, \dots, \mathbf{a}_{i-1}^*, \mathbf{a}_{i+1}^*, \dots, \mathbf{a}_r^*$  の線型結合で書けるので、 $\mathbf{a}_j^* = \sum_{k=1}^r \beta_k \mathbf{a}_k^*$  と表しておく。ただし  $\beta_i = 0$  である。

$$c_1 \mathbf{a}'_1^* + \dots + c_i \mathbf{a}'_i^* + \dots + c_r \mathbf{a}'_r^* = \mathbf{0}^*$$

が成立しているとする。このとき式を変形すると

$$(c_1 + c_i \beta_1) \mathbf{a}_1^* + \dots + (c_{i-1} + c_i \beta_{i-1}) \mathbf{a}_{i-1}^* + c_i \mathbf{a}_i^* + (c_{i+1} + c_i \beta_{i+1}) \mathbf{a}_{i+1}^* + (c_r + c_i \beta_r) \mathbf{a}_r^* = \mathbf{0}^*$$

となる。 $a_1^*, \dots, a_r^*$  の 1 次独立性より  $c_i = 0$  となり,  $k \neq i$  に対しても  $c_k = 0$  が成立する。よって  $a_1^*, \dots, a_r^*$  は 1 次独立である。以上により  $\text{rank}_3(A) \leq \text{rank}_3(A')$  が成立する。 $A$  と  $A'$  の役割を入れ替えることにより  $\text{rank}_3(A') \leq \text{rank}_3(A)$  が得られるので証明は終わる。

演習問題 3.7 補題 3.7 から定理 3.5 を示せ。

$\text{rank}_4(A) = \text{rank}_2(A)$  はすでに示してあるので,  $\text{rank}_1(A) = \text{rank}_2(A) = \text{rank}_3(A)$  を示す。 $k$  回基本変形を行って標準型になる  $n$  行列の集合を  $L(k)$  と書く。 $L(k)$  に属する行列に対して定理 3.5 が正しいことを数学的帰納法で証明する。これを証明すると任意の行列  $A$  はある  $L(k)$  に属しているので, 定理 3.5 が証明される。

最初に  $A \in L(0)$  とする。このとき  $A$  は標準型なので  $\text{rank}_1(A) = \text{rank}_2(A) = \text{rank}_3(A)$  が成立している。よって  $r = 0$  のときは成立する。

次に  $L(k)$  に属する行列に関しては定理が正しいとする。 $A \in L(k+1)$  とする。このとき  $A$  に基本変形を 1 回行って得られる行列  $B \in L(k)$  となるものが存在する。このとき補題 3.7 より  $\text{rank}_2(A) = \text{rank}_2(B)$ ,  $\text{rank}_3(A) = \text{rank}_3(B)$  が成立している。また帰納法の仮定より  $\text{rank}_1(B) = \text{rank}_2(B) = \text{rank}_3(B)$  が成立している。 $B$  は  $A$  に基本変形を行ったものなので  $\text{rank}_1(A) = \text{rank}_1(B)$  が成立している。以上より  $\text{rank}_1(A) = \text{rank}_2(A) = \text{rank}_3(A)$  が成立する。よって  $k+1$  でも成立している。

演習問題 3.8 次の行列の階数を求めよ。

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 5 & 6 & 7 & 8 \\ 9 & 10 & 11 & 12 \\ 13 & 14 & 15 & 16 \end{pmatrix}$$

$$(2) \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

$$(3) \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 1 \\ 2 & 3 & 2 & 3 \end{pmatrix}$$

$$(4) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 2 & 0 & 2 & 0 & a \\ 1 & 0 & 1 & 0 & b \end{pmatrix}$$

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 5 & 6 & 7 & 8 \\ 9 & 10 & 11 & 12 \\ 13 & 14 & 15 & 16 \end{pmatrix} \xrightarrow{(4 \text{ 行}) \rightarrow (4 \text{ 行}) - (3 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 5 & 6 & 7 & 8 \\ 9 & 10 & 11 & 12 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{(3 \text{ 行}) \rightarrow (3 \text{ 行}) - (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 5 & 6 & 7 & 8 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \end{pmatrix} \xrightarrow{(2 \text{ 行}) \rightarrow (2 \text{ 行}) - (1 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{(4 \text{ 行}) \rightarrow (4 \text{ 行}) - (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \xrightarrow{(3 \text{ 行}) \rightarrow (3 \text{ 行}) - (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 4 & 4 & 4 & 4 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

$$\begin{aligned} &\xrightarrow{(2 \text{ 行}) \rightarrow \frac{1}{4} \times (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 1 & 1 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \xrightarrow{(1 \text{ 行}) \rightarrow (1 \text{ 行}) - (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 & 3 \\ 1 & 1 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \\ &\xrightarrow{(1 \text{ 行}) \leftrightarrow (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & 1 \\ 0 & 1 & 2 & 3 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \text{ よって階数は } 2 \text{ である。} \end{aligned}$$

$$(2) \quad \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \xrightarrow{(1 \text{ 行}) \leftrightarrow (4 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(2 \text{ 行}) \leftrightarrow (3 \text{ 行})}$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \text{ よって階数は } 4 \text{ である。}$$

$$(3) \quad \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 1 \\ 2 & 3 & 2 & 3 \end{pmatrix} \xrightarrow{(4 \text{ 行}) \rightarrow (4 \text{ 行}) - 2 \times (3 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 1 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(4 \text{ 行}) \rightarrow (4 \text{ 行}) - (2 \text{ 行})}$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \xrightarrow{(3 \text{ 行}) \rightarrow (3 \text{ 行}) - (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \xrightarrow{(3 \text{ 行}) \rightarrow (3 \text{ 行}) - (1 \text{ 行})}$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \text{ よって階数は } 2 \text{ である。}$$

$$(4) \quad \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 2 & 0 & 2 & 0 & a \\ 1 & 0 & 1 & 0 & b \end{pmatrix} \xrightarrow{(4 \text{ 行}) \rightarrow (4 \text{ 行}) - (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 2 & 0 & 2 & 0 & a \\ 0 & 0 & 0 & 0 & b-1 \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{(3 \text{ 行}) \rightarrow (3 \text{ 行}) - 2 \times (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & a-2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & b-1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(1 \text{ 行}) \rightarrow (1 \text{ 行}) - (2 \text{ 行})}$$

$$\begin{pmatrix} 0 & 2 & 2 & 4 & 4 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & a-2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & b-1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(1 \text{ 行}) \leftrightarrow (2 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 2 & 2 & 4 & 4 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & a-2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & b-1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(2 \text{ 行}) \rightarrow \frac{1}{2} \times (2 \text{ 行})}$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 & 2 & 2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & a-2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & b-1 \end{pmatrix}$$

この問題は場合分けが必要になる。 $a=2$ かつ $b=1$ のときは階数は2である。それ以外は階数は3になる。ここでは $a \neq 2$ の場合を示す。

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 & 2 & 2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & a-2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & b-1 \end{pmatrix} \xrightarrow{(3 \text{ 行}) \rightarrow \frac{1}{a-2} \times (3 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 & 2 & 2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & b-1 \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{(4 \text{ 行}) \rightarrow (4 \text{ 行}) - (b-1) \times (3 \text{ 行})} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 & 2 & 2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \xrightarrow{(3 \text{ 列}) \leftrightarrow (5 \text{ 列})}$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 2 & 2 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

$b \neq 1$ の場合は各自計算すること。